

## コンバーティングテクノロジー総合展内「グリーンマテリアル2024」出展 最新のバイオマスプラスチックを活用した新しい家具を展示します

株式会社天童木工（本社：山形県天童市）は、1月31日～2月2日、東京ビッグサイト 東5ホールで開催されるコンバーティングテクノロジー総合展内の展示会『グリーンマテリアル 2024』に「リグニンネットワーク」の一員として参加します。本展示では改質リグニンをういた最先端材料の開発を進めるコンソーシアム「高機能リグニン」の最新の研究成果を中心に発表します。サステナブルなものづくりを実現する『新しい技術』から誕生する『新しい家具』をご覧ください。



### 概要



天童木工では、国立研究開発法人 物質・材料研究機構と豊田合成株式会社と共に、改質リグニンを含むバイオマスプラスチックによるモビリティパーツ（自動車内装部品）の共同研究・開発を進めてきました。この研究が実現することで、モビリティパーツのみならず、家具をはじめとする石油由来の樹脂材料の代替が可能となり、より環境に配慮したものづくりを行うことができます。

※改質リグニンとは

「改質リグニン」とは木材からつくるバイオマス由来の新素材です。

強固で耐熱性を示すなど高い機能性を持ち、様々な製品の素材として利用が期待されています。国内で研究される改質リグニンの多くは、日本固有の樹木であるスギの中に3割ほど含まれる「リグニン」を原料に製造されます。

### コンバーティングテクノロジー総合展『グリーンマテリアル2024』

日時 : 2024年1月31日(水)～2月2日(金) 10:00～17:00

会場 : 東京ビッグサイト 東5ホール マテリアルステージ 《ブース番号:5S-17》

URL : <https://www.mfg.cj-exhibition.com/> ※参加費無料(事前登録制)

展示会では、当社の基幹技術である「成形合板」で培った経験をもとに、『改質リグニン含有樹脂とセルロース系繊維による熱可塑FRP成形技術』を活用した試作品のキャンティレバーチェア(1/2スケール)をご覧ください。

熱に強く、加工しやすく、環境にも優しい自然由来の改質リグニンを含有した樹脂とセルロース系繊維による熱可塑FRP成形技術によって製作された椅子は、木質材料でつくられた当社の成形合板の椅子と比較しても25%～35%厚みを薄くすることに成功し、社内で定めている椅子の強度試験にも合格しました。

また、椅子の商品開発の中で課題になることが多い「背」と「座」の曲面の形状についても、通常の成形合板の椅子より複雑で深い形状を実現しています。

会場ではこれらの研究の成果だけではなく、長年のモビリティパーツの開発研究の成果ともいえるステアリングやアシストグリップの試作品もご覧ください。



「NEW TECHNOLOGY  
NEW DESIGN」

※会場設置用コンセプトパネル

■WEBでもご覧いただけます



<https://www.tendo-mokko.co.jp/info/a/9598>

■お問い合わせ先

株式会社 天童木工 本社・工場

広報担当 今田 隼人

〒994-8601 山形県天童市乱川 1-3-10

TEL : 023-654-9016 E-mail : [konta.h@tendo-mokko.co.jp](mailto:konta.h@tendo-mokko.co.jp)